

令和 7 年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立 三猪 高等学校

Table with 2 columns: スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割) and スクール・ポリシー (三つの方針). Content includes educational goals and policies for graduation, curriculum, and admission.

Table for 学校運営計画(4月). Columns include 学校運営方針, 昨年度の成果と課題, 年度重点目標, 具体的目標, and 評価(総合). Includes a large 'A' grade and detailed descriptions of achievements and goals.

Table for 自己評価. Columns include 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 生徒・保護者対象のアンケート, 評価(3月), 結果の考察と次年度の課題, 項目ごとの評価, and 学校関係者評価. Contains detailed self-evaluation data and stakeholder feedback.

様式3

生徒指導	学校行事や生徒会活動の支援	学校行事を通して、生徒会執行部を中心に各種委員会と連携を図る。	生活アンケート、実施後のアンケート	A	B	アンケート実施のみならず、結果を回覧し、次年度に向けて検証を行う。	B	○学校側の意向だけでなく、アンケート等を取りながら、生徒・保護者等の意見も反映して様々な取り組みが実施されている。今後、取り組みが実施されたこと(校則の見直し等)を積極的に情報配信すれば、広報活動にもつながる。	
		学校行事のスリム化を検討しながら、人数減少に負けない生徒のやる気や、楽しさを引き出す学校行事の企画運営を目指す。	実施後のアンケート	B		アンケート実施のみならず、結果を回覧し、次年度に向けて検証を行う。			
		部活動支援の充実	外部指導者の活用や外部施設等の利用等により、環境整備を行う。	顧問への調査(年度末)	A	A			指導体制について、安心安全が保たれるように改善が必要である。
			部活動数や予算の整理等を行い、安全面への対応を組織的に検討していく。	顧問への調査(年度末)	A				顧問への調査を確実にし、全部活動、全生徒の活動の充実を図る。
		安心・安全な活動が行えるよう施設設備の点検を定期的に行う。	安全点検(年3回)	A		定期的かつ都度実施したい。			
健康管理 安全管理 環境美化	生徒保健委員会の充実と活性化	生徒の健康面や安全面に対する関心や意識を高めるため、「保健だより」を発行する。内容について検討・創意工夫を図る。	学校行事において保健委員による健康観察を実施	A	A	次年度は、行事や時期に応じた内容を検討し、「保健だより」を作成・発行していきたい。	A	○適切に計画が実施されている。	
		環境衛生に気を配り、石鹸・消毒アルコールの補充を徹底する。	保健委員による実施	A		定期的に確認をして、補充を徹底していきたい。			
	安全点検の実施	各学期ごとに安全点検を実施する。	各学期ごとの定期点検に加え、臨時点検を実施	A	A	各学期ごとに安全点検を実施することができた。			
		生徒美化委員会の充実と活性化	学校行事に合わせ、全校生徒で校内美化に努めるための計画を提示する。	学校行事において美化委員による点検を実施		A			美化委員による、学校行事に合わせて清掃状況の点検を実施することができた。
		清掃に必要な備品の確認と、補充・保管場所の確認を徹底する。	学期ごとに確認	A		定期的実施することができた。			
教育相談	課題を抱える生徒への、柔軟できめ細かい対応	課題を抱える生徒の情報を教職員間で共有し、SCの活用で早期対応に努める。生徒の配慮すべき事情について、養護教諭と連携し、関係職員と情報交換を行う。	教育相談委員会の実施	A	A	教育相談委員会後、その後の対応や情報共有が更にスムーズとなる環境づくりを行う。	A	○適切に計画が実施されている。	
		支援が必要な生徒を把握し、個別の支援計画・指導計画の作成と教育相談を実施する。	全職員による情報共有	B		担任・副任、学年、教科担当と段階的に情報を共有し、生徒の健全な発達に資する環境を整える。			
		SCIによる研修等を通じて、多様な生徒に対応する力を高める。	スクールカウンセラーによる職員研修実施	A		SCIによる研修等を継続して実施し、職員の多様な生徒に対応する力を高めていきたい。			
進路指導	生徒に高い志を持たせるキャリアプランニング力の育成	探究活動と進路ガイダンスを通して生徒のキャリアプランニングの基礎を構築する。	各ガイダンスや探究活動の振り返り(ポートフォリオ)にて、「自分の進路について考える機会となった」回答多数	A	A	各学年とも進路ガイダンスを複数回実施することができた。生徒各自の振り返りを確実に実行。	A	○適切に計画が実施されている。生徒の成長に資するよう今後も工夫を続けてほしい。	
		Classiを活用し、各学年・分掌と連携して生徒が自ら学ぶ姿勢を伸ばす。		B		Classiの活用については学年・クラスによってばらつきがある。教員間の共通認識が必要である。			
	外部支援活用による希望進路実現に向けた取組の充実	模擬試験等を活用して学習内容の定着を図るとともに、結果を教員間で共有し、学習到達度に応じた学習指導を行う。	就職、進学に対応した模擬試験実施	B	A	模擬試験は計画的に実施しているものの、生徒の学力にあっていない実態があり、検討が必要。教員の共有の方法も改善が必要である。			
		就職希望者向けの外部講師によるガイダンスや講座を通して、進路実現に向けた主体性を育む。	ハローワークや専門学校等との連携講座を実施	A		ガイダンスや講座は生徒の進路意識につながった。更に積極的な職業選択を考えさせたい。			
探究活動の深化	総合的な探究の時間における探究活動の充実	生徒自らが課題を設定し探究活動に主体的に取り組む計画を立て、職員全体で取り組む体制を作る。	地域の事業所や城島支所との連携を通じた探究活動の実施。振り返り(ポートフォリオ)にて「積極的に取り組んだ」回答多数	A	A	生徒の活動を、主体的にかつ円滑に進めることができるように事前に職員で検討して共有する。	A	○適切に計画が実施されている。地域連携を今後も進めてほしい。	
		地域や外部機関との連携を密にし、地域の課題に積極的に取り組む態度を育成し、主体的な実践的な探究活動にする。		A		城島支所や地域の事業所等との連携で、積極的な探究活動が実施できた。継続的な連携が必要である。			
	探究活動を通じた、主体性や表現力の向上、希望進路実現	探究活動の成果共有のためのプレゼンテーションの機会を設定し、思考力や表現力を養う。	発表後の振り返り(ポートフォリオ)により、発表内容、スライド作成、発表の仕方などの振り返りを実施	A	A	表現活動のための講座を実施し、学年での発表の機会を通して、表現力向上につながった。			
		進路実現に向けた探究活動を企画し、進路意識を高めるとともに主体的に行動する態度を育成する。		A		2・3年生では、生徒各人の探究課題を設定させ、進路意識の向上につなげることができた。更なる内容の検討が必要である。			
研修	教師の資質向上を図る研修の推進	本校の課題を踏まえ、かつ時代的に必要性の高い研修を計画・実施する。また、研究授業や授業参観週間を活用して教科指導力の向上を図る。	職員研修5回実施、研究授業、授業参観週間を実施	B	B	本校の課題に沿った内容の研修や研究授業を実施することができた。一方、授業参観週間のあり方については、工夫が必要である。	A	○適切に計画が実施されている。	
		人権・同和教育の充実	生徒の実態や課題、社会情勢に応じた教材を用い、人権・同和教育授業の指導案を担当者のみならず協力して作成し、効果的な授業を実施する。	特設授業(講演含む)を全学年で3回実施		A			各学年で、生徒の実態に応じた内容で特設授業を実施できた。今後も効果的な授業のあり方や題材について、継続的に考えていく必要がある。
コース	一般教養コースの特色強化	校外内における他者との交流や地域貢献活動を通して社会性を育成するために、地域の行事やボランティア活動に参加する。	常時ボランティア募集の案内と、1・2年城島まつり参加	A	B	校外との折衝と、校内への情報共有や組織体制づくりが課題であった。今年度の反省を踏まえ、早めの準備や事前指導を行ってほしい。	B	○今後とも積極的に地域との交流活動等に関わってほしい。	
		進路部と連携して就職希望者の就職率100%を達成するために、学年を超えた指導体制の構築	進路主事の全学年に向けた指導協力の依頼	B		3年生を中心に進路に向けた意識を高めていく仕掛け作りと協力体制を図ってほしい。			
		職員に向けた、授業を充実させるためICTに関する情報の発信	ICT支援員との連携と情報提供フォルダの作成	B		担当間で連携は取れているが、その他職員への更なる情報共有が必要である。			
	スポーツ文化コースの充実	小学校との連携事業を実施する。(西牟田・三瀬・犬塚小学校)	3つの小学校及び、城島中学校で実施できた。スポーツをするだけでなく、支える立場側からの目線で考え、行動することに繋がった。	A	A	生徒の成長が大きく、来年度も継続して行いたい。他小学校との確認・調整が必要と考える。			
スポーツの分野(見る・観る・支える・知る・極める)で地域で活躍する人材を育成する。実習の厳選を行い、魅力あるスポーツ文化コースを目指す。		各学年で計画した実習を行うことができた。□	B	地域で活躍できる人材を育成するための、新たな実習の見直しや予算の検討が必要と考える。					
事務部	教育活動が活発に行われるための支援	教科指導書や教材等を計画的に購入する。(教務部と連携)	県費予算および教育振興基金等予算(私費会計)の効果的な執行を実施	A	A	学校分権予算の組替等により計画的な整備に努めたい。	A	○学習する環境の整備が適切に実施されている。今後もよりよい環境づくりに向け取り組んでほしい。	
		施設の不具合箇所は優先順位を付し計画的に補修・改修を行う。	県費予算および教育振興基金等予算(私費会計)の効果的な執行を実施	A		外壁の一部落下等危険な不具合箇所への対応やトイレへの自動洗浄機の設置等教育環境の改善に配慮しながら対応を行った。			
		生徒の教育活動や学校の広報等が円滑に進むようICT機器等の保守管理を行う。	県費予算および教育振興基金等予算(私費会計)の効果的な執行を実施	A		オンライン授業に対応するための周辺機器の整備等優先度の高いものから対応した。			
生徒・職員の安全 安心の確保	事故等の未然防止による生命・財産の保全	定期的に学校施設の安全点検を実施し、事故等の未然防止に努める。(保健環境課と連携)	職場視察の実施(R7.7月、10月)	A	A	労働安全週間等の機会を捉え施設の不具合や危険箇所の把握に努め、環境整備班との協議や県施設課への報告、修繕に係る予算要求等を速やかに行っている。	A		
		保健衛生用品等の計画的な購入・整備に努める。(保健環境課と連携)	職場視察の実施(R7.7月、10月)	A		例年どおり計画的な整備に努めている。			
円滑な事務処理の推進	業務改善による円滑な事務処理と教育活動への支援	職員への諸連絡は今後も学校ポータルサイトを活用し周知もれを防ぐ。	業務分担の更なる平準化を図り、効率的な事務処理体制となるよう改善	B	A	これまでどおりの活用ができています。	A		
		旅費計算支援ソフトを活用し旅費事務を効率的に行う。	業務分担の更なる平準化を図り、効率的な事務処理体制となるよう改善	A		旅費制度見直しにも対応できるよう更新し、これまでどおりの活用ができています。			
		各業務担当の主任・副任による相互チェック体制を強化し、円滑な事務処理を目指す。	業務分担の更なる平準化を図り、効率的な事務処理体制となるよう改善	A		各分担ごとの繁忙期の重なり等にも配慮しつつ事務分掌の更なる見直しを実施した。			

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<p><学校魅力発信の強化> HP・SNS更新の頻度・質の向上、動画配信など多面的な広報活動の展開。中学校訪問や地域イベント出展など戦略的広報活動の充実。</p> <p><地域貢献活動の深化> 地域プロジェクト型学習への参加促進。ボランティア活動等を通じた地域貢献及び成果発信。</p> <p><発表機会と探究活動の拡大> 校内・校外発表会、探究型プロジェクトの体系化。地域課題と連動した長期的探究活動(MJCプロジェクト等)の拡充。</p>

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A: 適切である
	B: 概ね適切である
	C: やや適切でない
	D: 不適切である
評価項目以外のものに関する意見	
小型自動二輪免許取得を許可してはどうか。	